



経済日誌

2025年8月15日～2025年9月14日の主な出来事



8.20 JR九州、県内3区間赤字拡大

JR九州は20日、1日1キロ当たりの平均乗客数が2千人未満の在来線について、2024年度の線区別収支を発表した。熊本県内の豊肥線（肥後大津－宮地、宮地－豊後竹田）と三角線の計3区間の営業赤字幅は、合計で1億4千万円拡大した。

8.27 肥後大津駅周辺のまちづくり計画策定

大津町は27日、JR豊肥線の肥後大津駅周辺のまちづくり基本計画を公表した。JR九州が駅東側に半導体関連企業の入居を想定した賃貸オフィスビルを建設するなど、町と民間事業者が連携して整備を進める。

8.28 大韓航空、熊本－ソウル線を増便

韓国の大手航空会社の大韓航空は28日、10月26日からの冬季ダイヤで、熊本－ソウル（仁川）線を現在の週3往復から週7往復に増便すると発表した。大韓航空は2024年11月に熊本－ソウル線を再開させていた。

9.4 9月の県内景気判断据え置き 日銀

日銀熊本支店は4日、9月の金融経済概観を発表した。県内景気は「緩やかに回復している」と7月の前回判断を据え置いた。個人消費や観光、生産などの個別項目も前回判断を維持した。

9.5 県農林水産輸出、151億円で過去最高

熊本県は5日、2024年度の県産農林畜水産物の輸出額が前年度比29億円（24%）増の151億4千万円となり過去最高を更新したと発表した。農畜産物、林産物、水産物でそれぞれ過去最高を更新した。

9.9 8月大雨の農林水産被害799億円

熊本県は9日、2025年8月の記録的大雨による県内の農林水産業関連の被害額が約799億円に拡大したと公表した。また、商工業や観光業など中小事業者の被害額は約280億円となっている。

9.1 以降は会員専用ページにて公開しております。

老朽化した4つの熊本県有スポーツ施設整備の方向性を検討する有識者会議は10月、同会議合伴特設の現地視察を最優先とし、次いで薩埵台県営野球場を移転再整備することが最も適当と判断した。

9.9 熊本－上海線「当面の間」運休

熊本県は10日、熊本空港と中国・上海を結ぶ定期航空路線が、冬季ダイヤに入る10月26日から運休すると発表した。期間は「当面の間」。2025年7月11日に新規就航して3カ月余りでの運休となる。

9.4 県最低賃金、全国最大82円上げ

熊本地方最低賃金審議会は11日発表した7～9月期の法人企業景況感調査によると、熊本県内の景況感（RSGI）は2四半期ぶりにプラスに転じた。

9.11 県内企業の景況感、2期ぶりプラス

11日発表した7～9月期の法人企業景況感調査によると、熊本県内の景況感（RSGI）は2四半期ぶりにプラスに転じた。

[ご入会はこちらから](#)
(入力は数分で終わります)

[会員の方はこちらから](#)